

＜文学部仏教学科のディプロマポリシー＞

仏教学科では、建学の理念である「同朋和敬」の精神に基づき、浄土真宗・仏教の思想・歴史・文化を学びます。そのなかで、一人ひとりが「共なるいのちを生きる」存在である確かな人間として自覚し、成長していける力を持つ人が育まれていきます。それらを可能にするカリキュラムを編成し、体系的、総合的に学ぶことができる教育を実践します。所定の単位を修得し、かつ以下の資質を備えた学生に対して卒業を認定し、学士（文学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

- ①日本の歴史社会の特徴でありかつ普遍的にグローバルな性格を持つ「仏教」を通して、多文化共生世界を実現する力が身についている。
- ②浄土真宗・仏教に関する専門的知識を修得している。

2. 汎用的技能

- ③現代社会におけるさまざまな現場で、仏教精神に基づくコミュニケーションスキル（傾聴力・話力）を発揮することができる。
- ④僧侶もしくは仏教精神に基づく言動ができる者として、現代社会におけるさまざまな問題状況を把握し、適切な言動をすることができる。

3. 態度・志向性

- ⑤現代において浄土真宗・仏教の精神により「同朋社会」の実現に努めることができる。
- ⑥各自が身を置く共同体において「同朋和敬」の精神に基づく人間関係を形成し、協働して、さまざまな問題に向き合い続けていくことができる。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

- ⑦浄土真宗・仏教に関する教学的専門知識を根底に持ち、それを十分に活用して、現代社会における仏教の現場で起こるさまざまな問題に覚悟を持って取り組み続けることができる。